

事業報告（令和5年度）

みどりデイサービスセンター

新型コロナウイルス規制緩和に伴い、利用者の積極的な受け入れ・行事計画の柔軟性を高めつつ、感染予防・対策を継続して行いました。

今年度は、昨年以上に楽しみを感じて頂けるよう外部からのイベントを多数企画。出張出前ラジオ・出張音楽コンサート・出張板前寿司等多様な分野の人達と関わり、「人との繋がりを大切に」をテーマに取り組んで参りました。職員で企画した余興も多くの利用者楽しんで頂く事ができました。

今後の課題として、慢性的な人材不足による人員確保という点から、実習や見学の積極的な受け入れ体制をつくり、人材育成・コンプライアンスを徹底し、利用者が安心、信頼のおける環境づくりを目指していきます。

また、地域包括の会議や研修会への参加により、地域の抱えるニーズや方向性の視覚化がより明確になったことで、法人の経営理念でもある「地域社会への貢献」を今一度地に足を付け取り組んで参ります。

GH みどり

新型コロナウイルス規制緩和により、制限を設けながらではありますが自宅への外出が可能となりました。久しぶりに御家族と過ごされ、入居者様も安心した様子が見て取れました。今年はりんご灯まつりが開催され、感染対策を徹底した上で見学することができました。今後も感染状況を考慮しながら外出行事等行っていきたいと思います。

今年度6名の入所がありました。歩行される方が増え転倒事故の発生件数が昨年より多くなりました。入居者様それぞれの身体状況を確認・職員間で共有し、未然に防げるよう努めています。

管理者1名退職となり新体制での配置となりました。また職員の退職に伴い3ユニット間での職員配置転換も行いました。各ユニット間の業務が統一され、円滑に行えるよう報告等細やかに行っていきます。

認知症実践者研修1名、認知症介護基礎研修2名受講し、介護福祉士取得に向け3名が取り組んでいます。資格取得に向け勉強しやすい体制を作っていきます。

元気町デイサービス

令和5年度、新型コロナウイルスが5類に移行し外出等も緩和の中業務を行ってまいりました。基準緩和にはなりましたが、以前のように感染予防対策は継続し業務しております。昨年同様に職員数名で感染者が出ましたが、利用者様への感染もなく業務が出来ております。利用者様の高齢化や体調不良・死亡等で利用中止も多く、かもめデイと合同で外部居宅へ営業活動を行い新規獲得に努めております。

研修では外部研修はリモートで参加、その他に内部ミーティング・勉強会を毎月行い今一度介護技術の見直しや、接遇の研修を行いました。

年2回の運営推進会議では、近隣のグループホームと合同で開催し町会長様や民生委員様・包括支援センター様と交流をしております。

行事では感染対策を取りながら外出も行い、利用者様も久々の外出に喜ばれております。次年度でも利用者様に喜ばれるよう、楽しみを見いだせるように支援してまいります。

かもめデイサービス

令和5年度の取り組みとしては、昨年同様に新規利用者様獲得に努めて参りました。

おかげ様で新規の利用者様も増えておりましたが、利用者様の高齢化や機能低下等もあり自宅での生活が困難となる方が増え、施設入所やグループホーム入所等で利用中止となる方も多くおりました。

その為、レクリエーションの時間を使い看護師による機能訓練や脳トレ等を取り入れ利用者様のADL低下防止に努めております。

又、職員間でミーティングを行い、利用者様の状態を把握し個々に合わせた製作などの取り組みもしています。

年2回の避難訓練では、消防への通報や避難経路と消火器の確認、また災害時の対応として、利用者様へ災害時の避難場所等、防災教育も行っております。

行事では、コロナウイルスが5類に移行となりましたので、感染対策を十分注意しつつ、春のお花見ドライブから始まり、買い物等の外出行事を実施する事ができ、利用者様に喜んで頂けました。施設内の行事でも慰問等取り入れる事ができて喜んで頂けました。

今後も一人一人の声に耳を傾け、より良いサービス提供が出来るように努めて参ります。

玉松ホーム

令和5年度では4名の方が新たに入居されております。

施設全体の平均介護度が2.4となっておりますが、ホーム1の平均介護度は1.6 ホーム2の平均介護度が3.0となっております。ご高齢の方も多く日々の状態観察に努め小さな変化にも気づけるように注意し業務いたしております。

新型コロナウイルスが5類となり、感染対策をしつつ面会規制の緩和や外出行事・地域の方々との関り等も徐々に増やし充実した支援を努めて参りました。青森県内でもまだまだ、感染症が猛威を振るっており、新型コロナウイルス感染者 職員2名、インフルエンザウイルス感染者 職員4名、入居者様7名の方が感染致しました。今後も予断を許さない状況が続いて行くと考えられる為、再度感染対策を見直して実施すると共に、来年度は新しい事にも挑戦して参りたいと思います。

外部研修の参加が増え、新しい知識やスキルを学び充実した時間を過ごすことが出来ております。外部研修の学びを内部研修に活かし、研修内容を日常業務に取り入れて行けるよう話し合う事によりサービスの質の向上に繋がられるように努めております。

また、毎月のミーティングなどにて入居者様の予見可能性について意見を出し合い課題解決に努めております。

近年、自然災害や感染症の流行にて業務継続が困難な事例が多く、当施設においてもクラスターを経験している為、業務継続計画の作成で優先される業務と、通常業務再開までの目安を再度見直ししております。災害時やクラスターが発生した時の職員不足や物資不足を想定した訓練や物資・機材の使用方法などの勉強会を定期的の実施し災害に備えて参ります。

今後も、感染対策を図りながら他職種との連携やご家族様はじめ地域の方々との関りを増やし、活動範囲を広げていけるよう取り組んで参ります。

みどりホーム

入居者様、ご家族様に支えられ13年目を迎えることができました。昨年末はノロウイルス感染者が発生いたしまして、ご家族の皆様へは大変ご心配をおかけし申し訳ございませんでした。

今年度より感染症の予防及びまん延防止のための研修の義務化に伴い、改めて感染予防と発生時のまん延防止のための初動対応等の確認を行いました。又、火災や地震に備えての訓練を定期的実施しており、災害時に迅速に対応できる体制を整えています。

医療機関と連携し体調不良時や急変時にも迅速に対応することができます。新型コロナウイルス対応につきましては、昨年5月に5類に移行となりましたが、高齢者施設等においては感染対策継続が推奨されていることから、マスク着用、手指消毒、検温に加えて短時間の面会制限をさせて頂いています。入居者様、ご家族様へはご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後も安心して過ごせるように入居者様に寄り添い、ご家族様との関わりを大切に丁寧な対応をして参ります。

みどりヘルパーステーション

職員体制

慢性的な職員不足により個々への負担が増えている中でも業務体制の見直しと、職員間の協力により事故なく無事に1年間を過ごす事ができました。昨年は企業説明会にも参加しましたが、中々応募がない状況です。今後も積極的な参加の継続と、職場環境の整備、現職員のスキルアップの底上げに努めていきます。

利用者・ご家族様

コロナやノロウイルスの蔓延により面会制限や外部サービスの利用休止等の制限があり、ご心配おかけしました。会う事が難しい遠方のご家族様へは少しでも安心して頂けるよう、電話や手紙での近況報告を行っています。コロナ禍を4年経験し感染予防や感染時の対応について学ぶ機会が多々ありました。今後も感染の程度により面会の制限等があるかと思いますが、利用者様の安全を第一にその都度柔軟に対応して参ります。

来年度より「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」をスタートする予定となっております。医療と介護が必要な方の地域での暮らしをサポートできるよう、これまでの「訪問介護」の経験を活かし、この油川地域に貢献できるよう努めて参ります。